

ご案内

第6回

TOWNミーティング

TAMA Outpatients and Home-care Wound care meeting



謹啓

盛夏の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のお引き立てをいただきますことを、厚く御礼申し上げます。

さて、「多摩地区における創傷治療と外来におけるNPWT(局所陰圧閉鎖療法)の推進と在宅での創傷治療の在り方を検討すること」を目的に開催してきたTOWNミーティングですが、医療者間の情報共有をさらに推進すべく、第6回では下記の通りプログラムを検討致しました。

ご多忙中とは存じますが万障お繰り合わせの上、ご出席賜りますよう御案内申し上げます。 謹白

第6回TOWNミーティング当番世話人
吉川内科医院 院長 吉川 昌男

2017.8.31 木

時間 | 19:30 - 21:30

定員 | 40名

参加費 | 500円

※軽食を用意致します

会場 | 武蔵野商工会議所 4階
市民会議室ゼロワンホール

東京都武蔵野市吉祥寺本町1-10-7
TEL: 0422-22-3631



武蔵野商工会議所

TOWNミーティング プログラム

製品紹介 19:30 - 19:40 科研製薬株式会社
フィブラストスプレー、クレナフィンについて



特別講演 19:40 - 21:30

1 「慢性創傷の在宅治療—在宅の病室化—」



吉川 昌男 氏
吉川内科医院 院長

厚労省は入院日数の短縮、ベッド数の削減などを求めており、入院中に慢性創傷治療を目指すことは困難です。そこで病院での創傷各種治療後に退院した患者に対し、入院加療に匹敵する在宅治療が求められます。治療には環境の整備、人的資源(医師、看護師など)の充実など在宅環境を病室化する必要があり、高次機能病院との密な連携も必要です。慢性創傷の在宅治療を皆さんと一緒に考えてみましょう。

2 「これからの慢性創傷の管理—特定行為研修を終えて、今考えていること—」



浦山 佳代 氏
吉川内科医院

わが国では団塊の世代が75歳以上となる平成37年(2025年)一人の高齢者を1.8人で支える社会構造が予測され、病院で治療を受けるよりも在宅医療を受ける人が増加することが予測されます。この医療ニーズに対応するため、特定行為に係る看護師の研修制度が創設されました。特定行為についてご紹介しながら、今後の慢性創傷管理にどのように活用できるか、お話していきたいと思っております。

3 「創傷治療への新しい挑戦」
~在宅創傷ケアシステム運営の現状と課題~



木下 幹雄 氏
東京西徳洲会病院 形成外科
TOWN訪問診療所 院長

自宅でも高度の創傷治療が受けられる在宅創傷ケアシステムの構想を打ち立て、4月より実際の運営が始まりました。開業後の診療の実際をご報告させていただき、今後の課題について皆様と一緒に考えてゆきたいと思っています。

協賛企業 アルケア株式会社 / 科研製薬株式会社 / ケーシーアイ株式会社 / コロプラスト株式会社

一般社団法人 Act Against Amputation 後援

TOWNミーティング事務局 | 東京西徳洲会病院 形成外科 / 医療秘書課 担当: 杉山 聖子
TEL: 042-500-4433 FAX: 042-500-6632